

骨

元気ですか？



当院では、骨粗鬆症診断のために骨塩定量検査を以下の該当者の方にお勧めいたしております。料金は、三割負担の方1350円です。

- ・65歳以上の女性。危険因子を有する閉経後から周閉経期の女性
- ・70歳以上の男性。50歳以上で危険因子を有する
- ・脆弱性骨折を有する
- ・原発性副甲状腺機能亢進症やクッシング症候群などの内分泌系の病気や、糖尿病、関節リウマチなどの病気、ステロイド薬などの薬によってをきたす疾患に罹患している。またそれを引き起こす薬物を投薬している

検査方法

寝台の上に仰向けに横たわり、足乗せ台に足を乗せ、リラックスして検査を受けていただきます。無理な姿勢は必要なく、痛みもありません。

簡単に測定

検査室に入室して、約10分で検査が終了します。最新の装置により、腰椎、大腿骨をそれぞれ測定できます。

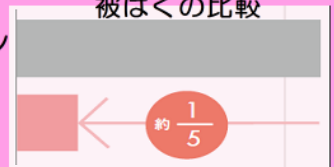
体にやさしい検査

一般の胸部レントゲンの約1/5程度の被ばく量で検査が行えます。女性の方でも安心して測定できます。

一般の胸部レントゲン

被ばくの比較

骨密度測定検査



早めの予防で、骨を元気に！



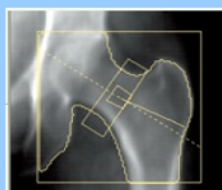
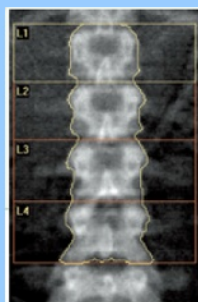
20代をピークに、骨の量は次第に減少していきます。骨に「す」が入ってもろくなります。これが「骨粗鬆症」です。

女性に多い「骨粗鬆症」。

「私は大丈夫」と思っている、安心はできません。自覚症状がないので、骨折して初めて知らされる方も少なくありません。

当院では、信頼性が高く、世界中で活躍する米国ホロジック社の骨密度測定装置HorizonCi型を導入。

「骨粗鬆症」の検査が簡単・安心・高精度に行えます。腰椎や大腿骨の骨折で、寝たきりにならないためにも、定期的な検査をおすすめします。



あなたの骨チェック

- Q1 最近身長が縮んだ・背中が丸くなったと思う？
- Q2 最近ちょっとしたことで骨折した
- Q3 関節リウマチの病歴、ステロイドの服用、胃切除の手術歴がある
- Q4 喫煙している
- Q5 アルコール摂取量が多い
- Q6 ご両親に骨粗しょう症やちょっとしたことでの骨折がある
- Q7 体格が細身である
- Q8 カルシウムを意識した食事をしていない
- Q9 運動不足である
- Q10 外にあまり出ない

Q1~Q3当てはまる方は、骨がもろくなっている可能性があります。まず、骨粗しょう症の診断に結びつく骨密度検査を受けましょう。

Q1~Q3に当てはまらず、Q4~Q10に当てはまる方は、まず、骨の状態を知るために、骨密度測定を受け、定期的にチェックしましょう。

